第3章　教員用共通プラットフォームPCの概要

3.1　教員用共通プラットフォームPCの仕様（ハードウェアー覧）

- Lenovo ThinkPad T400

CPU	：インテル Core2Duo プロセッサーP8600 2.4GHz
液晶画面	：14.1型WXGA
メモリ	：2GB x1 (PC3-8500 DDR3 SDRAM)
HDD	：160GB
光学式ドライブ	：DVDスーパーマルチ2層対応　ウルトラベイスリムドライブ
ネットワーク	：10Base-T/100Base-TX/1000Base-T
ワイヤレスLAN	：インテル Wireless WiFi Link 5100AGN
モデム	：V.90 (56kbps/14.4kbps)
PCカードスロット	：TypeⅡ、またはTypeⅠのいずれか1枚、CardBus対応
USB	：USB2.0(3)/右側(1)、左側(2)
バッテリー・パック	：6セル Lion-Ionシステム・バッテリー

- ACアダプター　(AC100-240V/(50/60Hz))
- レーザセンサマウス (USB接続)

3.2　OS、および主なアプリケーション（ソフトウェアー覧）

教員用PCには、貸与時に表3.1に示すOSおよびアプリケーションがインストールされています。また、Internet Explorer, Firefoxには、表3.2に示すプラグインが組み込まれています。

表3.1 ソフトウェアー覧

オペレーティングシステム　：　Windows 7 Enterprise (SP1) ＊1			
Adobe Reader	PDFファイル閲覧	PuTTY	ファイル転送
AntConc	コンコーダンス	Quick Time Player	ビデオ・オーディオ再生
Cisco System VPN Client	ネットワーク接続ツール	Real Player	ビデオ・オーディオ再生
CubePDF	PDF作成	Refworks (Write-N-Cite)	文献管理
DivX Player	ビデオ・オーディオ再生	Roxio Creator Bussiness Edition	CD/DVDライティング
FFFTP	リモートログイン		
Firepass (汎用プロキシ)	ネットワーク接続ツール	Sophos Endpoint Security and Control	ウイルス対策
Internet Explorer	Webブラウザ		
LhaPlus	ファイル圧縮・解凍	TeraTerm Pro	リモートログイン
Microsoft Office Professional Plus 2010 SP2	総合ビジネス支援	TeraPad	テキストエディタ
		TurningPoint	オーディエンス・レスポンス・システム
Access	データベース		
Excel	表計算	Windows Media Player	ビデオ・オーディオ再生
Picture Manager	画像管理・編集	WinSCP	ファイル転送
PowerPoint	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ資料作成	Xinics SilverStream Producer	マルチメディア
Word	文書作成		
Office ツール	言語の設定　他ツール	ハードディスク・ファイル暗号化ソフトウェア	暗号化
Outlook	電子メールの送受信		
Microsoft Office SharePoint Designer	Webページ作成ツール	＊1 高等学院・本庄高等学院・芸術学校・川口芸術学校のPCのOSはWindows 7 Professional (SP1)です。	
Mozilla Firefox	Webブラウザ		
Open Office.org	総合ビジネス支援		
PDFforsell	PDF作成		

2014年3月現在

表 3.2 プラグイン一覧

Adobe Flash Player	Silverlight
Adobe Shockwase Player	

2014年3月現在

※ 詳細はITサービスナビ（http://www.waseda.jp/navi/fpc/soft.html）をご参照ください。

3.3 機種の特色

3.3.1 トラックポイントおよびタッチパネル

教員用PCには、トラックポイントおよびタッチパネルというポインティング・デバイスがあり、マウスと同じ操作がマウスなしでできます。これらは、両方同時あるいはどちらか一方のみを使用することができます。設置時の初期設定では、両方同時使用になっています。

本節では、デバイスの使用方法と切り替え方法を簡単に示します。詳細な使用方法は、P3「2.2 マニュアルについて」をご参照ください。

トラックポイント

トラックポイントは、図3-1に示すようにキーボード上のポインティング・スティック(1)と、キーボードの下部にある3つのクリック・ボタンで構成されます。画面上のマウス・ポインター(5)を動かすには、ポインティング・スティックの先に付いているキャップに指で圧力を加えます。

左(4)および右(2)のクリック・ボタンの機能は、マウスの左および右マウス・ボタンにそれぞれ相当します。センター・ボタン(3)には、スクロール・バーと呼ばれる機能があります。この機能は、ウィンドウの端にあるスクロール・バーを使わずに、Webページや文書を任意の方向にスクロールします。

タッチパッド

タッチパッドは、図2-2に示すようにキーボード手前にあるトラックポイント・ボタン下のパッド

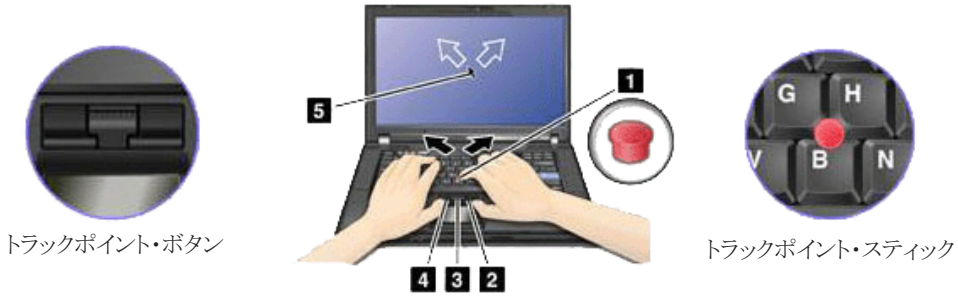

図3-1 トラックポイントの操作方法

(1)と、2つのクリック・ボタンからなります。画面上のマウス・ポインター(4)を動かすには、指先をパッド上で移動したい方向にスライドさせます。左(3)および右(2)のクリック・ボタンの機能は、通常のマウスの左右のボタンの機能に対応します。

トラックポイントとタッチパッドの切り替え

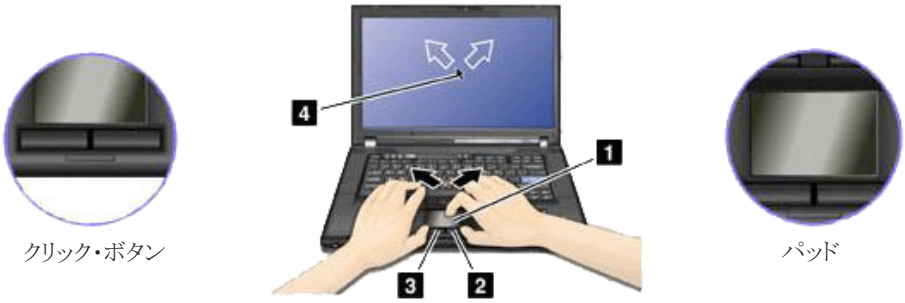

図3-2 タッチパッドの操作方法

トラックポイントおよびタッチパッドは、画面下タスクバーの右側の「UltraNav」アイコンから切り替えることができます。

「UltraNav」アイコンは、タッチパッドおよびトラックポイントの状態によって、表3.3のように表示されます。設定を変更するには、アイコンをクリックして表示されるメニューから必要に応じて選択してください。図3-3に表示されるメニューを示します。

使用可能デバイス	表示
タッチパッド	
トラックポイント	
タッチパッドおよびトラックポイント	

表3.3 「UltraNav」アイコンの表示

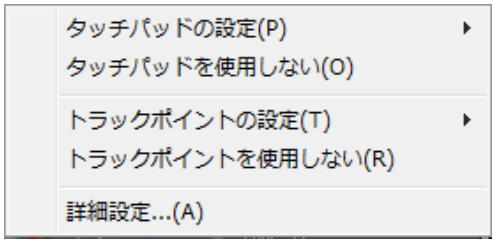

図3-3 「UltraNav」アイコンの表示メニュー

3.3.2 キーボード・ライト

照明が不十分な場所で使用する場合は、［Fn］キーを押しながら［PgUp］キーを押すと、キーボード・ライトがオンになり、キーボードが照らされます。再度［Fn］キーを押しながら［PgUp］キーを押すと、キーボード・ライトはオフになります。

3.3.3 全画面拡大機能、拡大鏡

全画面拡大機能

全画面拡大機能を使用すると、作業中のウィンドウが拡大され、全画面拡大アイコンが画面の右下にあるタスクバーの通知領域に表示されます。この全画面拡大アイコンをクリックすると、ズーム倍率を変更できます。

全画面拡大機能を使用するには、［Fn］キーを押しながら［スペース］キーを押します。再度［Fn］キーを押しながら［スペース］キーを押すと全画面拡大機能を終了することができます。

拡大鏡

拡大鏡を用いると、ディスプレイの一部分を拡大表示することができます。

拡大鏡を使用するには、［スタート］ボタン－［コントロール パネル］をクリックし、［コンピュータの簡単操作センター］をクリックし、「拡大鏡を開始します」をクリックします。

拡大鏡が起動すると、画面上部に「拡大表示」ウィンドウが開き、画面上のマウスポインター周辺が拡大されて表示されます。また、「拡大鏡の設定」ウィンドウが画面上に表示されますが、必要に応じて設定変更および拡大鏡の終了を行ってください。

3.4 画面

教員用PCの電源を入れると、ログオン画面が表示されます。パスワードを入力して、［Enter］キーを押してください。

Windowsの起動が完了すると、図3-5の画面が表示されます。

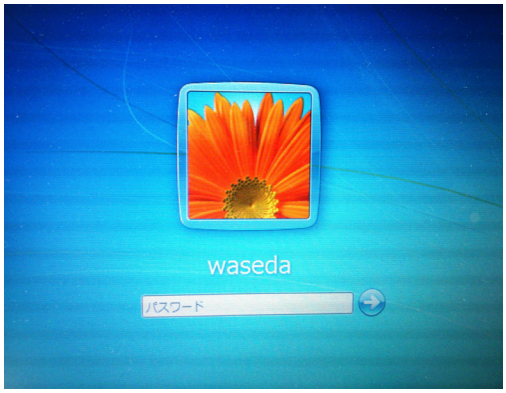

図3-4 ログオン画面

図3-5 起動画面

画面上にあるアイコンは次のとおりです。

「waseda」フォルダ　：個人用フォルダです。このフォルダの中に「ドキュメント」「ピクチャ」「ミュージック」フォルダなどがあり、作成したデータを保存する場所です。（ほかの場所に保存することもできます。）

コンピューター　：「コンピューター」アイコンをダブルクリックすると、このPCのハードディスクドライブや接続されているデバイスなどの情報が表示され、PC全体のファイル操作などを行うことができます。

ごみ箱　：「削除」されたデータが保管されています。ファイルをこのアイコン上にドラッグ＆ドロップすることで、データを削除することができます。

タスクバー　：画面最下部の領域を「タスクバー」、右端の領域を「通知領域」といいます。

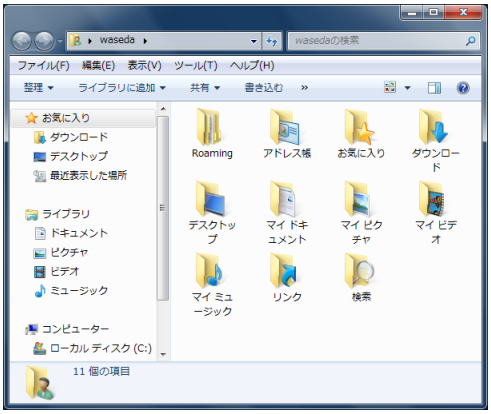

図3-6 「waseda」フォルダ

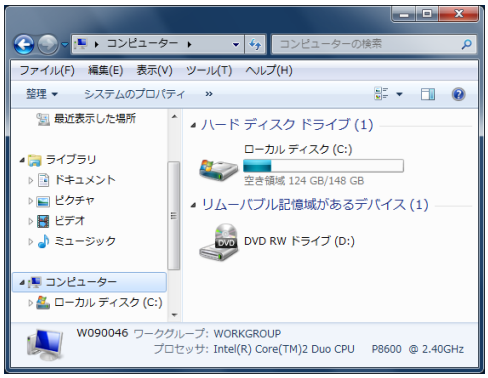

図3-7 コンピュータ

図3-8 タスクバー

3.5 スタートメニュー

タスクバーの左端には［スタート］ボタンがあり、これをクリックすると、メニューが表示されます。

［スタート］メニューの表示内容を変更するには、タスクバー上で右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。［スタート］メニュータブをクリックし、［カスタマイズ］ボタンをクリックします。

また、左列メニューの下方にある［すべてのプログラム］をクリックすると、図3-9のように利用できるすべてのプログラムが表示されます。

フォルダのアイコンが付いているメニューをクリックすると、さらに次のメニューが表示されます。目的のアプリケーションが表示されるまでクリックして、メニューを表示させてください。

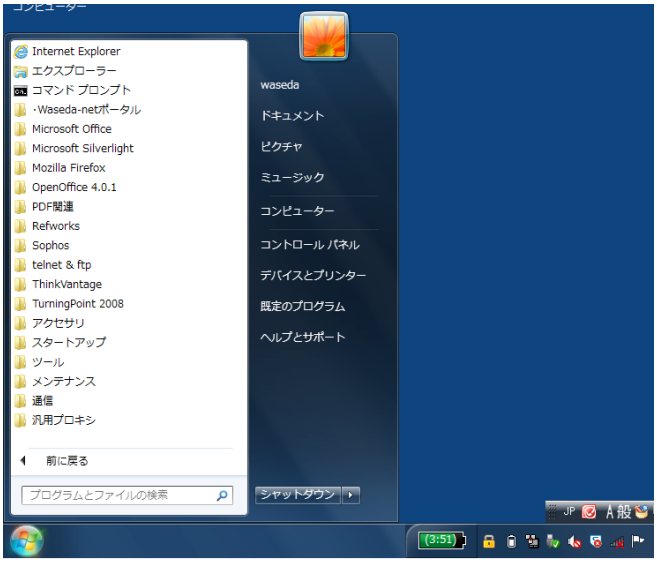

図3-9 ［スタート］メニュー

3.6 電源

3.6.1 電源ケーブル

電源ケーブルは、一方を電源コンセントに、もう一方をPC本体背面の「コンセント」マークの口に差し込んで利用します。

海外で教員用PCを使用する場合は、地域によりコンセント形状や電圧が異なるため、コンセント変換プラグや変圧器が必要になります。

図3-10 ACアダプタ・電源ケーブル・PC本体背面

3.6.2 バッテリー・パック

バッテリー・パックの装着方法は、メーカーサイト（http://www-06.ibm.com/jp/domino04/pc/support/Sylphd03.nsf/jtechinfo/MIGR-71462）を参照してください。

内蔵のバッテリーに充電してケーブルをはずした状態でも、ある程度の時間であれば利用することができます。バッテリーの充電状態や使用可能なおおよその時間は、タスクバーに表示されます。

バッテリー・パック充電できなくなった場合は、情報環境支援窓口（P34参照）にご相談ください。

図3-11 バッテリー・パック

図3-12 バッテリーの状態表示

3.7 周辺機器の接続

本節では、教員用PCへのUSBメモリなどの接続機器やプロジェクタおよびプリンタなど周辺機器の接続方法を記述します。

3.7.1 USB接続機器

教員用PC本体の左右側面に計3つのUSBコネクターがあります。USB接続部分の上下を確認して差し込みます。

図3-13 USB接続部分・USBコネクター

USBメモリや外付けハードディスクを取り外す場合は、タスクバー右端の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。図3-14のように表示されるメニューから取り外したいドライブを選択します。「安全に取り外すことができます」というメッセージが出てから、USB接続部分を取り外してください。

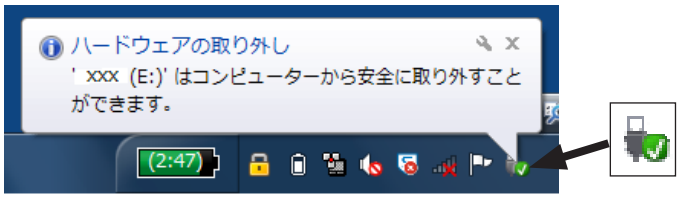

図3-14 ハードウェアの安全な取り外し

3.7.2 外部ディスプレイやプロジェクタの利用

外部ディスプレイやプロジェクタを利用するための手順を示します。

① ディスプレイケーブルを図3-15に示す本体の左側面のモニターコネクターに差し込みます。

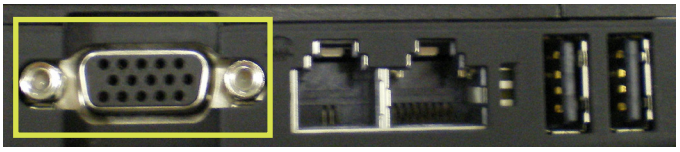

図3-15 モニターコネクター

② 外部ディスプレイやプロジェクタの電源を入れます。

③ もし、外部ディスプレイに画面が表示されないときは、キーボードの左下にある［Fn］キーを押しながらキーボードの上部にある［F7］キーを押します。

図3-16 キーボード

④ ［Fn］＋［F7］キーを押すごとに、表示方法を変更することができます。

図3-17 ［Fn］＋［F7］キー

大学内の各教室のAV機器の設置状況については、下記Webサイトをご参照ください。

URL http://www.waseda.jp/navi/av/

各教室のプロジェクタに出力するときの手順は、教室のAVラックに付属の解説書をご参照ください。

3.7.3 DVDドライブの利用

DVDドライブは、本体右側面のウルトラベイに装着済みです。

対応しているCDおよびDVDメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-ROM、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R 2層、DVD+R、DVD+R 2層、DVD-RW、DVD+RWです。

3.7.4 プリンタの接続

教員用PCにはプリンタは付属していませんが、教員室などに設置された印刷用PC付属のプリンタを利用できます。

① 教員用PCを、教員室あるいは教員ラウンジなどの印刷用PC付属プリンタの設置された場所に持参します。

② 印刷用PC付属プリンタに接続されているUSBケーブルの一端を、教員用PC側面のUSBコネクターに差し込みます。

③ 初めて接続する場合は、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示される場合があります。その場合は、「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」のまま、［次へ］ボタンをクリックします。
インストール中に「Windowsロゴテストに合格していません」という警告の表示が出た場合は、［続行］ボタンをクリックします。
新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」ウィンドウにて、［完了］ボタンをクリックします。

④ 各アプリケーションの［印刷］をクリックします。

⑤ 印刷物がプリンタから出力されたことを確認します。

⑥ 教員用PCのUSBコネクタから、プリンタのUSBケーブルを抜きます。

※ 用紙、トナーに関しては、各箇所事務所が管理していますので、お問い合わせは箇所事務所にお願いします。

※ 教員室などには、箇所独自で導入したプリンタが設置してある場合がありますので、箇所事務所にご確認ください。

3.7.5 セキュリティロックの設置

教員用PCにはセキュリティロックが付属しています。盗難を防ぐため、必ず使用してください。セキュリティロックの取り付け方法については、付属の取扱説明書をご参照ください。なお、ロックを取り付けるための教員用PC本体のセキュリティ・キーホールは、本体背面右端にあります。

キーは2個付属しています。ご自身で管理し、紛失にはご注意ください。

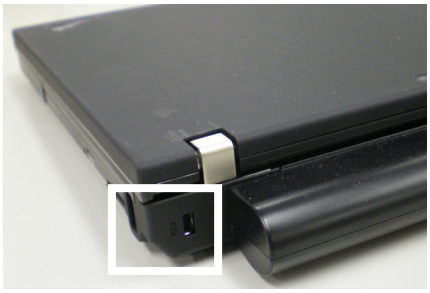

図3-18 セキュリティ・キーホール

3.8 表示言語の変更（言語パックの適用）

3.8.1 Windowsの表示言語の追加と変更

※ 導入されているOSがEnterpriseエディションの場合のみ、表示言語を変更することができます。Professionalエディションでは、表示言語を変更することはできません。

Windows 7の表示言語を変更するためには、使用できる言語パック（言語ファイル）を追加する必要があります。言語パックを導入すると、Windowsのウィザード、ダイアログ ボックス、メニュー、ヘルプ トピックなどの項目を別の言語で表示することができます。

言語パックは、Windowsの更新プログラムのオプションとして、Windows Updateから入手できます。追加の言語は、次の手順で入手することができます。

① ［スタート］ボタンをクリックし、「Windows Update」をクリックします。

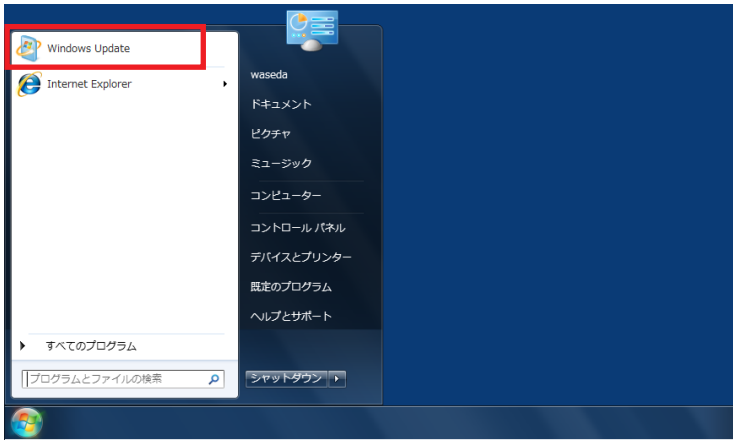

図3-19 表示言語の変更1

② ［更新プログラムの確認］ボタンをクリックします。

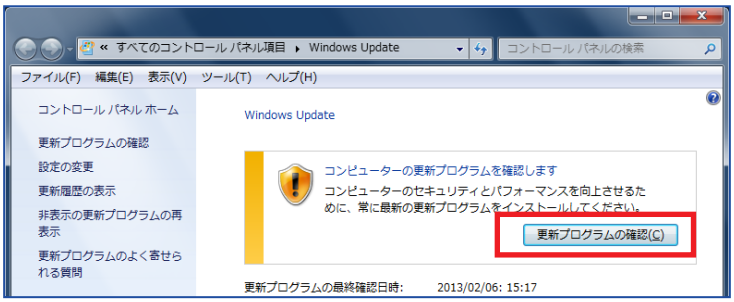

図3-20 表示言語の変更2

③ 「xx個のオプションの更新プログラムが利用可能です。」をクリックします。

図3-21 表示言語の変更3

④ 「インストールする更新プログラムの選択」画面が表示されるので、「Windows 7 Language Packs」項目で目的の言語を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
複数の言語を選択することもできます。

⑤ 「Windows Update」画面に戻るので、［更新プログラムのインストール］ボタンをクリックします。

ダウンロードが完了すると、「表示言語のインストールまたはアンインストール」画面が自動で開き、選択した言語パックのインストールが開始されます。

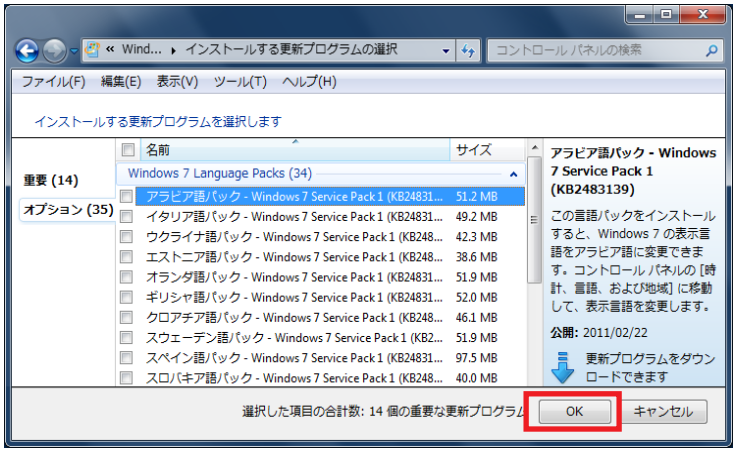

図3-22 表示言語の変更4

表示する言語は、以下の手順で変更できます。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロール パネル］－［地域と言語］をクリックします。

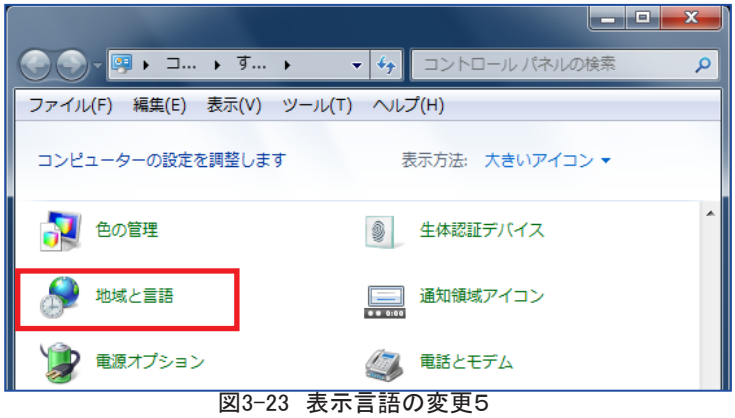

図3-23 表示言語の変更5

② 「キーボードと言語」タブをクリックします。

③ 「表示言語」項目の一覧の中から表示したい言語を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

※ 表示言語の変更を行っても、一部の表示は日本語のままで表示される場合があります。

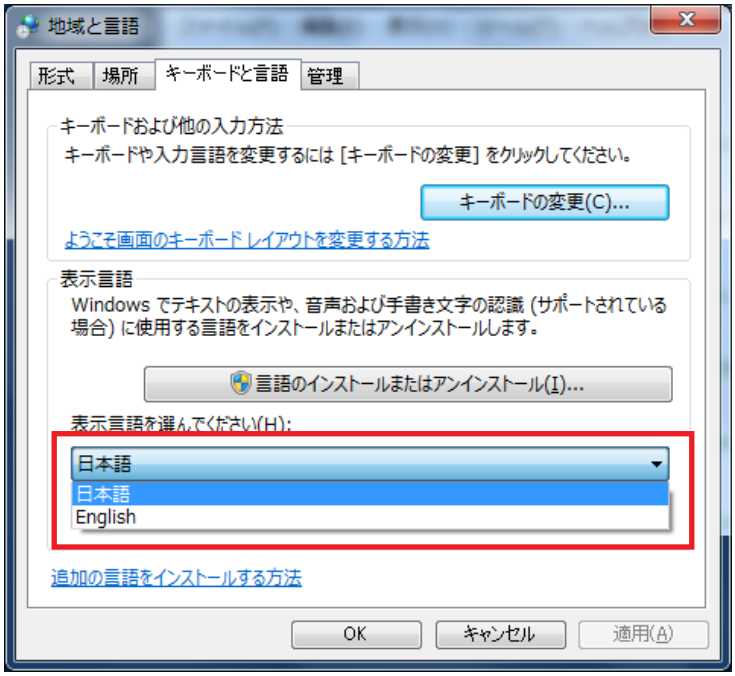

図3-24 表示言語の変更6

3.8.2 Officeの表示言語の追加と変更

Officeの言語パックを導入すると、スペル チェック、文章校正プログラム、類義語辞典などの校正ツール、Officeリボン、メニュー、およびヘルプをさまざまな言語で表示できます。なお、英語用の校正ツールは、Officeのすべての言語版に付属しているので、英語の校正ツールのみを使用したい場合は、言語パックを導入する必要はありません。

言語パックが必要かどうかは、次の表で確認をしてください。

表3.4 言語パック

目　　的	言語パック
・Officeリボン、メニュー、およびダイアログボックスを別の言語で表示する。 ・スペル チェック、文章校正プログラムなどの校正ツールを別の言語で使う。	必要です。 「Office Multi Language Pack 2010」を導入してください。
・テキストの入力と編集のみを別の言語で行う。 ・校正ツール、メニューやヘルプは既定の言語で使用する。	不要です。 「地域と言語」－「キーボードと言語」タブにて、キーボードで入力する言語を変更してください。

※　言語の追加方法は、以下のWebページを参照してください。

Office プログラムで別の言語を使用できるようにする（Microsoft社のサイト）

URL　http://office.microsoft.com/ja-jp/sharepoint-workspace-help/HA010354783